THE NIKKAN KENSETSU TIMES

2024（令和6）年
7 月 12 日（金曜日） 第15733号
千葉版
昭和41年12月14日 第3種郵便物認可 ©日刊建設タイムズ社2024

日刊建設タイムズ

呉光塗装㈱安衛協が安全大会

無事故無災害への挑戦

危険予知の輪に全員参加

呉光塗装㈱安全衛生協力会の主催による「2024年度安全大会」が6月29日、柏市内のザ・クレストホテル柏で開かれ、総勢150人余が参加。協力会社及び職長に対する安全表彰をはじめ、㈱セレンティップ代表取締役の中野昭子氏による「建設業における労災事故と対策」についての安全講話、同社事業本部の鶴見悟志本部長（安全衛生協力会事務局長）による安全教育「事故事例」と「新入社員紹介」、同じく工事部の長橋元樹氏による安全講話「コンプライアンスと建設DX」のほか、安全衛生協力会の瀬山伸二氏（日建リース工業㈱参事）による安全パトロール報告などで構成。安全大会後の懇親会では、スペシャルゲストとして、東京2020パラリンピック閉会式にも出演したシンガーソングライターのわたなべひろさんが、ピアノ演奏と歌を披露した。（2面に「安全表彰者」など）

奥野泰二専務

完工高51億円突破

開会に先立ち、呉光塗装㈱の奥野泰二専務取締役は、同社の2022年度の完成工事高が約40億円、23年度が約51億円だったことを報告したうえで、本年度については「官民合わせて さらに数十％の伸びが見込めると推察する」と言明。一方で「それだけの工事量に対して協力会のみなさんには、常に安全施工を実行して頂かなければならない」とし「是非とも安全管理に十分努めてほしい」と呼びかけた。

「安全確保のためのルール」と声掛けを

開会のあいさつでは、呉光塗装安全衛生協力会の阿波一泰副会長（ナカ・テクノメタル㈱代表取締役社長）が、建設現場に存在する「安全確保のためのルール」について言及。安全作業での現場ルールは「諸先輩方の豊富な経験と知恵を絞ってつくったものであり、間違いなく効果があると断言できる」とし「従って、ルールの順守は絶対に必要なことである」と言明。そのうえで「このルールは『当たり前』のことや『言われるまでもない』ことが多いため、どうしても疎かになりがちである」との自戒を込めるとともに、「全員参加の安全な現場をつくり上げていけるのではないかと思う」とし「お互いに協力し合い、無事事故無災害で明るい現場を築き上げていこう」と重ねて呼びかけ、あいさつを結んだ。

懇親会であいさつする奥野仁識取締役

鶴見事業本部長（安衛協事務局長）

阿波・安衛協副会長

5年前の安全大会 社長の有言を実行

安全大会の最後には、改めて同社事業本部長で安衛会事務局長の鶴見氏が閉会のあいさつ。この席で鶴見氏は、安全表彰受賞者に対して「無事故無災害はもとより、リーダーシップをしっかりと発揮され、各工事の進行への尽力と貢献に対して改めて感謝申し上げる」との謝意を示すとともに、次のように語って大会を締めくくった。

◇

5年前（2019年）の安全大会で、弊社社長の奥野一が「売上を50億円にする」ということを突然、みなさんの前で申し上げた。冒頭の奥野専務の話にもあったように、23年度で完成工事高51億円を達成できたことは、ひとえに協力会会員のみなさんのお陰である。仕事を受注しても、施工して頂ける方がいなければ達成できない。みなさんの安全品質における厳密な工程管理が、我々を大変助けてくれた。

中野講師による安全講話

懇親会でのシンガーソングライター・わたなべひろライブ

弊社の現場管理の社員に対しては、私の立場からは中々感謝をかたちにすることができずにいたが、社員のみなさんには、これからも誇りをもって仕事をして頂きたいと思う。

都市再生機構での安全表彰5件受賞

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）においては、特に厳しい現場管理が求められる。昨年度は、関東地区で3億円以上の大型物件が70件あったが、その安全表彰8件のうち、弊社が5件を受賞した。

これは「UR都市機構始まって以来」だと言われている。それだけの評価を頂いた訳である。工事成績評定の平均値もトップだった。弊社の現場代理人と監理技術者を含めて、現場技術者の力である。マネジメント力と現場管理能力の強い人たちを本当に誇りに思う。改めて、私自身も誇りをもって仕事ができるように努力していきたい。

最後に、このように安全大会を盛大に行えることは、みなさんの日頃からの多大なる支援と協力があってこそである。心から感謝を申し上げる。今後も厳しい経済環境は続くが、一歩ずつ着実に歩みを続けていく。引き続き、変わらぬ支援と協力を賜りたい。

この日は、安全大会に引き続き懇親会が開かれ、主催者を代表して呉光塗装㈱の奥野仁識取締役が次のようにあいさつした。

◇

弊社の業績は、前年度の完成工事高で50億円を達成し、今年度も順調に推移している。前回の2019年度の安全大会で弊社社長の奥野が「5年以内に50億円を目標とする」と言言した通りとなった。ひとえに、本日参加されたみなさんの力強い支援と協力に加えて、高い安全意識と高い品質を提供して頂いたお陰である。心から感謝を申し上げたい。

今後も私たちは、技術革新とサービスの質の向上に注力し、働き方改革の推進のため、建設DXを積極的に取り入れ、現場環境をより良いものとし、さらなる発展を目指していく。そのためには、みなさんの意見や支援が不可欠である。今後もより一層の協力と連携を深めながら、業界の発展と会社の成長に向けて努力していく。

呉光塗装㈱安衛協安全大会

「安全」協力会社と職長表彰

〈1面参照〉

呉光塗装㈱安全衛生協力会の主催による「2024年度安全大会」での安全表彰では、安全優良協力会社賞として3社、安全優良職長賞として6人を表彰。安全優良協力会社を代表して真成㈱の田島美希社長、安全優良職長を代表して㈱克コーポレーションの木村佳正氏が、それぞれ謝辞を述べた。

【安全表彰】

〈安全優良協力会社賞〉

○小倉㈱（小倉朝輝・代表取締役）

○㈲林工業（林 正樹・代表取締役）

○真成㈱（田島美希・代表取締役）

〈安全優良職長賞〉

○道正 剛（日建リース工業㈱）＝R04豊島五丁目団地2号棟他1棟外壁修繕その他工事

○木村佳正（㈱克コーポレーション）＝新松戸ファミールハイツ大規模修繕工事（2021年度）

○千北晤一（サンセイ㈱）＝パークハウスつくば研究学園（22）大規模修繕工事

○上山秀明（㈱常磐電機設備）＝R04コンフォール川崎富士見外壁修繕その他工事

○飯田知紀（真成㈱）＝R04武里団地3―1号棟他14棟外壁修繕その他工事

○吉田圭也（㈱岩田架設工業）＝R04成田ニュータウン橋賀台団地3―5―6号棟他2棟外壁修繕その他工事

【「安全優良協力会社賞」での田島社長（真成㈱）による謝辞】

弊社は、安全第一をモットーに施工している。当たり前のことだが、全員が同じ方向を向いていなければ、成し得ることは難しいと思う。そのため、社内ルールをつくり、コミュニケーションを図りながら、日々安全第一の施工を全員で築き上げている。今回の表彰は、それらの社員全員の取り組みが認められたものと感じており、大変ありがたく思う。今後はこの表彰に恥じぬように、より一層一寧な仕事に心がけていきたい。

【「安全優良職長賞」での木村氏（㈱克コーポレーション）による謝辞】

弊社としては、再びこのような素晴らしい賞を頂けるように日々努力していく。7月に入ると、いよいよ夏の暑さがピークを迎える。各現場、作業員各位においては熱中症対策として、こまめな休憩と水分補給を心掛けるように、さらに全国安全週間にあたっては、各現場において改めて事故や怪我等がないよう、周知をお願いしたい。

技術革新とサービスの質向上に注力

安全優良協力会社賞

安全優良職長賞

安全優良協力会社を代表して田島社長（真成㈱）

安全優良職長を代表して木村氏（㈱克コーポレーション）